

飯山雪国大学 環境講演会開催

どなたでも参加できます！

10 / 18 (土)
PM 1 : 30 ~



飯山雪国大学
第3回環境セミナー公開講演会

「ゆっくり 暮らそう
～“スロー”が地球を救う～」

「100万人のキャンドルナイト」などを提唱する環境運動家・辻信一さんの講演をお聞きます。

場所：飯山市民館講堂（入場無料）

お問い合わせ先：飯山市民館Tel 62-3342

第3回 総合学習センターフェスティバル開催！

『発信しよう！』

未来を拓く 飯山らしさ 学びのチカラ
～あなたも五館フル活用～

10月4日(土)
10月5日(日)
開催!!

10 / 4 (土)、5 (日) の両日、第3回総合学習センターフェスティバルを開催いたします。飯山市民館・市立飯山図書館・飯山市民美術館・いいやま女性センター・未来・飯山市ふるさと館の5館が、様々な催しを企画して、皆様のお越しをお待ちしております。詳細は、9月号の市報に掲載します。

飯山市民館 62-3342

第2回 飯山雪国大学環境セミナー開催！

7月24日(木)に、第2回飯山雪国大学環境セミナーが行われました。受講生約20名の出席で、飯山くらしの会のみなさんを講師にお招きし、会の活動内容をお聞きしたり、廃油でつくるせっけん作りを教えていただきました。作り方は、牛乳パックにカセイソーダと水を入れ、そこに廃油を入れてしばらくかき混ぜるだけなので、簡単に作れます。廃油の汚れ方や気温によって固まり方が違うようです。受講生からは、思っていたよりも手軽に簡単にでき、自分でも作ってみたいなど、とても好評でした。普段、捨ててしまいが

ちな廃油ですが、このようにせっけんとして再び生まれ変われば環境にもやさしい！のでぜひ皆さんも作ってみてください。廃油せっけんの使い方は、運動靴、汚れのひどい衣類の洗濯や、流し台・レンジまわり、食器類、風呂、トイレ掃除など、体を洗う以外ならほとんどどこでもよく落ちます。また、年2回、飯山くらしの会が主体となり廃油回収も行っておりますのでぜひご利用ください。



《廃油せっけんの作り方》

- 用意するもの(1人分)
牛乳パック、廃油 320cc、カセイソーダ 50g、水 90cc、牛乳パック、さいばし
 - 身じたく…マスク、手袋
 - ①牛乳パックにカセイソーダを入れ、水を加えてカセイソーダをとかす。(かき混ぜて2分位おく)
【注意】カセイソーダは素手で絶対さわらない。ガスが出るのでのぞきこまない！(劇薬注意)
 - ②食用廃油を加えて、さいばしでよくかき混ぜる。(15分～30分でマヨネーズ状になる)
 - ③家の中の日の当たる所におく。(縁側など)
 - ④のし餅くらいの固さになったら、パックのまま包丁で適当な大きさに切る。
 - ⑤さらに、数日間干して1ヶ月くらいたつと、よい石けんになり、使用できます。(よく干さないと手が荒れますので、必ずよく干してください。)
- ※カセイソーダを薬局で購入する際には印鑑が必要になります。

マイオピニオン 意見・私見



常盤地区ドッジボール大会に参加して

常盤地区 井出 睦美

私達の地区では毎年恒例のドッジボール大会があり、今年も7月13日(日)に開催され、私は柳新田Bチームで参加しました。

1チーム12名で組まれていて、その中に女性3人と小学生3人が入ることという常盤ならではのルールがあります。しかし、中には小・中学生だけで組まれているチーム

もあつたりで、若さとエネルギーあふれる速い動きとスピードには思わず感心してしまっています。私も体力には意外と自信があるつもりで、気合も十分だったのに、館内の想像以上の暑さと熱気で、試合に出る前から体力は消耗し、思っていた以上に動くことが出来ませんでした。

若輩者の戯言です

飯山地区専門部員 宮沢 敏明

飯山、この地域もご多分にもれず少子高齢、ジリ貧など過疎化に関する問題が山積しています。

昨今「限界集落」という言葉を見聞きしますが、以前報道番組の中でこの事について特集されていました。あまり詳しく覚えていませんが、そう呼ばれている地域の人達は、(〇〇さん)になってから更に過疎化が進んだ、しかし、(…)とその先は、厳しい状況でありながらも現状の変

化を望んでいない、と言う諦めにも似たような意外な言葉でした。各云う私自身も「変化」という事に関しては二の足を踏むタイプでして、自分に対して問いかけているようにも思っています。最近この「限界集落」という表現は不適切だ！との意見を耳にしましたが、この深刻な問題を人々に伝え、危機感を持っていただくためにも「限界」の文字は必要なのではないか、と思う次第であります。しかし、何とかしようとする努力している当

権人 宇野シズ

「人権意識とは何であろうか」

飯山市民社会教育委員代表 本木 幸子

特別支援学校についてご存知でしょうか。かつての、盲学校、聾学校、養護学校を総称して特別支援学校という名称になりました。

教育関係者や障害児者をもつ家族の方達には、「二人ひとりのニーズに合った教育」との観点を踏まえると、異なる障害種の学校が、併設もしくは併置されることにより、手厚くきめ細かい教育を行う環境が維持向上されるとは到底思えず、納得できない心情かと付度いたします。